



平成 27 年 2 月 13 日

各 位

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション
代表者 代表取締役社長 室 雅文
(コード番号 7264)
問合せ先責任者 執行役員管理本部長兼総務人事部長 山口 誉
(TEL 03-3703-4123)

営業外収益（為替差益）の計上及び業績予想の修正 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)において、営業外収益(為替差益)を計上しましたので、お知らせいたします。また、平成 27 年 2 月 13 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 14 日の平成 26 年 3 月期決算短信発表時に開示した平成 27 年 3 月期(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)の業績予想と期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

昨今の為替相場の変動により、平成 27 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)において為替差益 445 百万円、連結会計期間(平成 26 年 10 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)においては為替差益 283 百万円を営業外収益に計上しました。

上記金額は、当社グループが保有する外貨建債権債務の決済及び平成 27 年 3 月期第 3 四半期末の為替相場による評価替え等により発生したものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

●業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,464	1,358	1,453	800	129.38
今回修正予想(B)	17,980	1,358	1,800	1,000	161.64
増減額(B-A)	516	0	347	200	
増減率(%)	3.0	0.0	23.9	25.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	16,646	1,127	1,243	646	104.54

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,611	1,044	1,199	644	104.24
今回発表予想(B)	15,150	1,100	1,650	950	153.56
増減額 (B - A)	539	56	451	306	
増 減 率	3.7	5.4	37.6	47.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	14,314	946	1,093	663	107.20

修正の理由

（連結業績）

通期の連結業績見通しにつきましては、当第 3 四半期の実績及び事業環境を前提として、経常利益と当期純利益は、円安に伴うドルを中心とした外貨建資産の評価替えによる為替差益の実績を踏まえて上方修正をいたしました。

（個別業績）

通期の個別業績の見通しにつきましては、当第 3 四半期の実績及び事業環境を前提として、営業利益は若干の上方修正となり、経常利益と当期純利益は、連結と同様に円安に伴う外貨建資産の評価替えによる為替差益の実績を踏まえて上方修正をいたしました。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

●配当予想の修正について

	第 1 四 半 期 末	第 2 四 半 期 末	第 3 四 半 期 末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 平成 26 年 5 月 14 日発表	—	—	—	20.00	20.00
今回修正予想	—	—	—	25.00	25.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成 26 年 3 月期)	—	0.00	—	20.00	20.00

修正の理由

通期業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を 20円から 5円増配し、25円に修正いたしました。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上